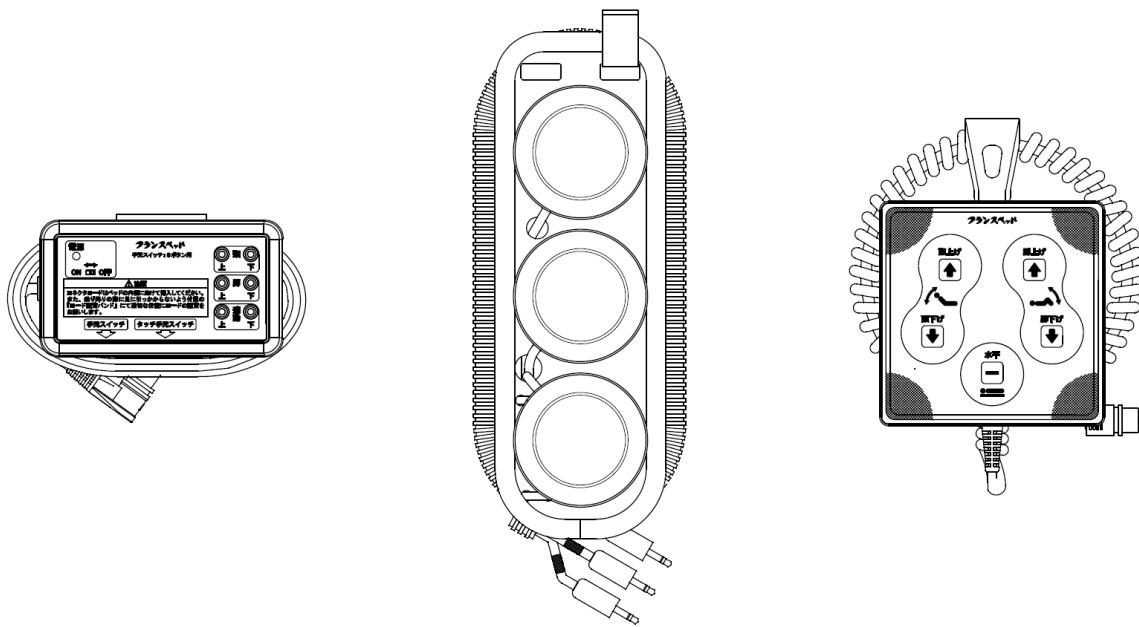


フランスベッド

取扱説明書

マルチフィットベッド専用入力支援スイッチ

853660-0011



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用して下さい。
- 本取扱説明書は、マルチフィットベッド専用入力支援スイッチの説明のみ記載しています。別紙のベッド本体の取扱説明書と合わせてご覧下さい。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管して下さい。

目次

		ページ
1.	安全のために必ずお守り下さい	2
2.	入力支援スイッチの名称	4
3.	入力支援スイッチの使用	5
1.	中継ボックス	5
	1)中継ボックス各部の名称	
	2)中継ボックスの設置	
2.	LPB スイッチの設置・接続方法	8
	1)LPB スイッチの設置・接続方法	
	2)LPB スイッチの操作方法	
	3)LPB スイッチ各部の名称	
3.	タッチ手元スイッチ	10
	1)タッチ手元スイッチ各部の名称	
	2)タッチ手元スイッチの操作方法	
	3)タッチ手元スイッチの設置・接続方法	
4.	仕様	11
5.	こんなときには	12
6.	アフターサービスについて	13
7.	保証書	14

1. 安全のために必ずお守り下さい

絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

その指示と内容は、次のようになっています。

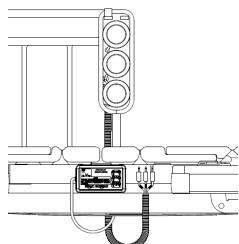
内容をよく理解してから本文を読んで下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないで下さい)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～して下さい)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

設置する時

⚠ 警告

LPB スイッチをサイドレールに固定する際には、乗り降りする逆側に取り付けて下さい。



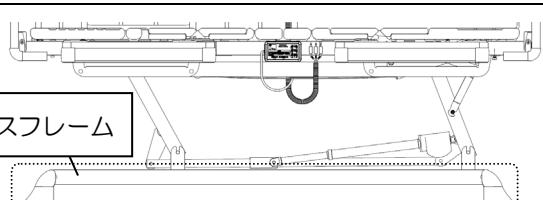
LPB スイッチを使用する際は必ず指定のサイドレールをお使い下さい。
スイッチが固定されず、ケガや誤操作をする恐れがあります。



使用可能なサイドレールは、SR-100JJ シリーズ、SR-106JJ のみです。カバー付きのものは LPB スイッチが取り付けできません。ベッド用グリップでは使用しないで下さい。

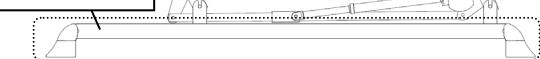


入力支援スイッチのコードをベースフレームの下には通さないで下さい。



昇降の際に引っ張られ、故障する恐れがあります。

ベースフレーム



使用する時

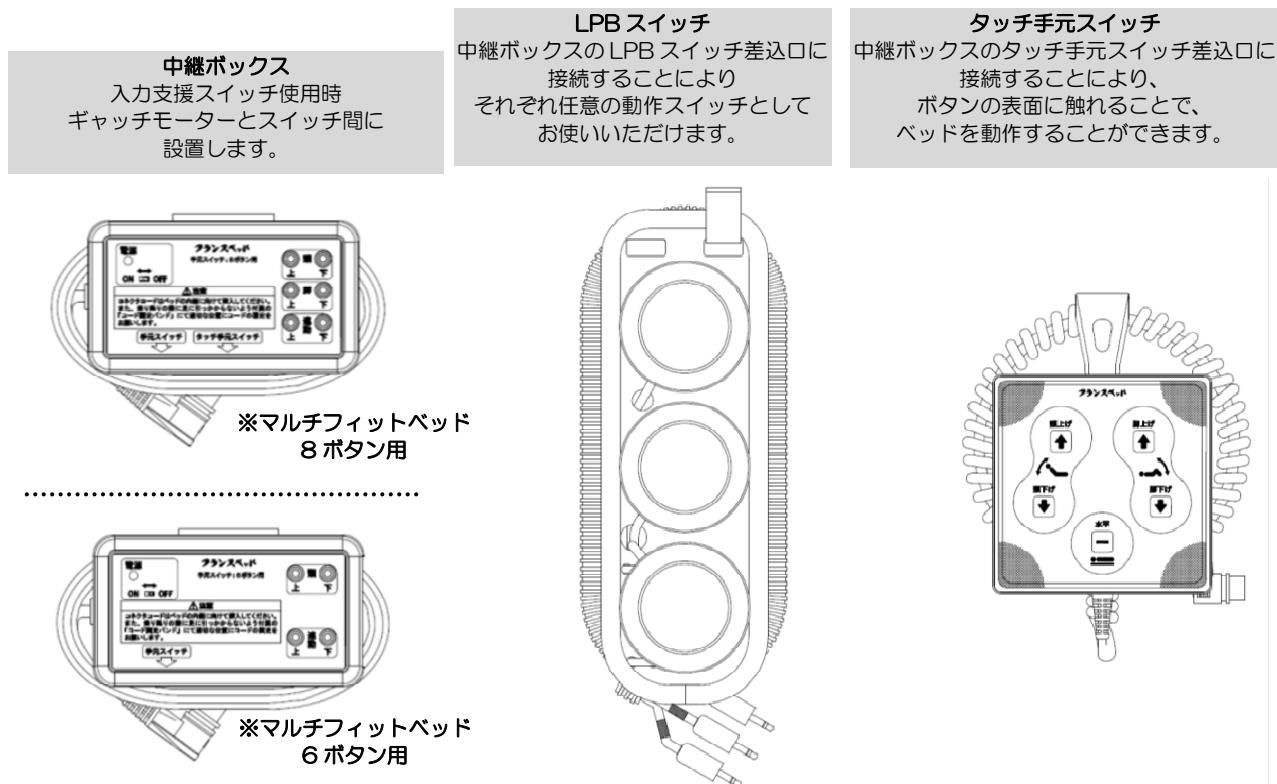
LPBスイッチとタッチ手元スイッチは併用しないで下さい。 誤操作やケガの原因となります。	
移乗等の体を動かす際、LPBスイッチのボタンに当たらないようご注意下さい。 思わぬ事故の原因となります。	
入力支援スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押して下さい。 複数のボタンを同時に押したり、不必要的ボタンを押すと思わぬ動きをし、ベッドに乗っている人や周囲の人のがケガをする恐れがあります。	
操作する前は、ベッドの下部（周囲）の安全確認を行なって下さい。 思わぬケガをする恐れがあります。	
タッチ手元スイッチ使用時、6秒間以上ボタンに触れ続けると、動作が停止しますので、さらにベッドを動作させる際は、再度ボタンに触れ直して下さい。 仕様上、動作時間を制限しています。	
ベッド操作を完全に禁止する場合は中継ボックスの電源を「OFF」にし、手元スイッチの操作をロックして下さい。 手元スイッチのロック方法はマルチフィットベッドの取り扱い説明書を参照してください。 また、中継ボックスの電源スイッチは「タッチ手元スイッチ」「LPBスイッチ」の操作を可能にするものです。手元スイッチをロックしても「タッチ手元スイッチ」「LPBスイッチ」は使用できます。	
中継ボックス使用時は対応する仕様の手元スイッチをご使用ください。 (4ページ参照) また、中継ボックス使用時は手元スイッチ画面上にリクライニング角度及び高さ表示をしません。	

⚠ 注意

スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールの外側にかけて下さい。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側等は無意識に触れて誤動作する恐れがあります。	
入力支援スイッチのコードの破損があるため、以下の行為はおやめ下さい。 【傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、たばねる、挟み込む、巻きつける、加熱する】 火災、感電の原因となります。	
スイッチに水やジュース等の液体をこぼさないで下さい。 故障や事故の原因となります。	
スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないで下さい。 ボタンが破損する等故障の原因となります。	

2. 入力支援スイッチの名称

- それぞれの名称は図の通りです。使用前に内容を確認して下さい。
- 本製品は、拘縮や筋力低下の方のためのものです。ご利用者様の状況に合わせて「LPBスイッチ」「タッチ手元スイッチ」いずれか一方をご使用下さい。



「マルチフィットベッド 8 ボタン用」対応の手元スイッチ：

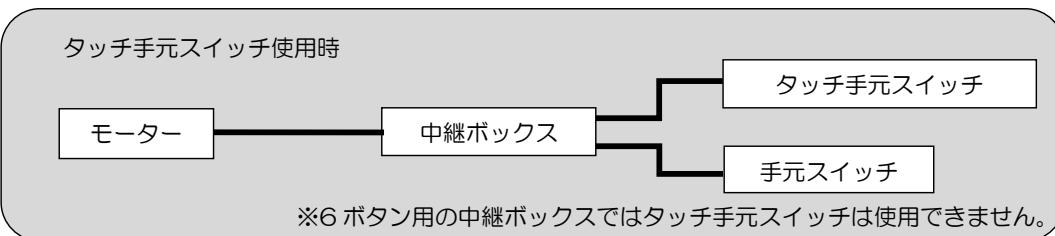
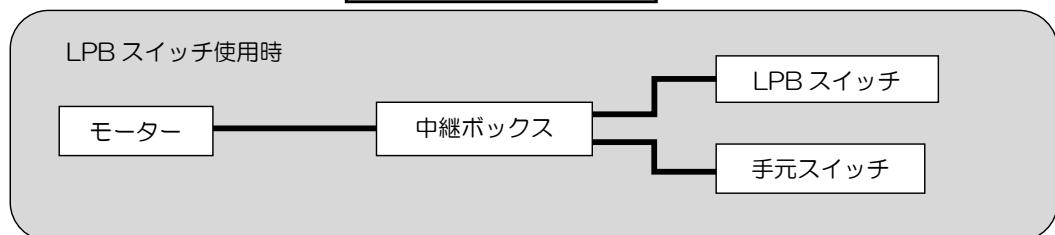
頭/脚/頭脚/高さ（上・下）の8ボタン付き

「マルチフィットベッド 6 ボタン用」対応の手元スイッチ：

頭/脚/高さ（上・下）の6ボタン付き

※マルチフィットベッドの取扱説明書に記載されている手元スイッチをご使用ください。

入力支援スイッチ接続例



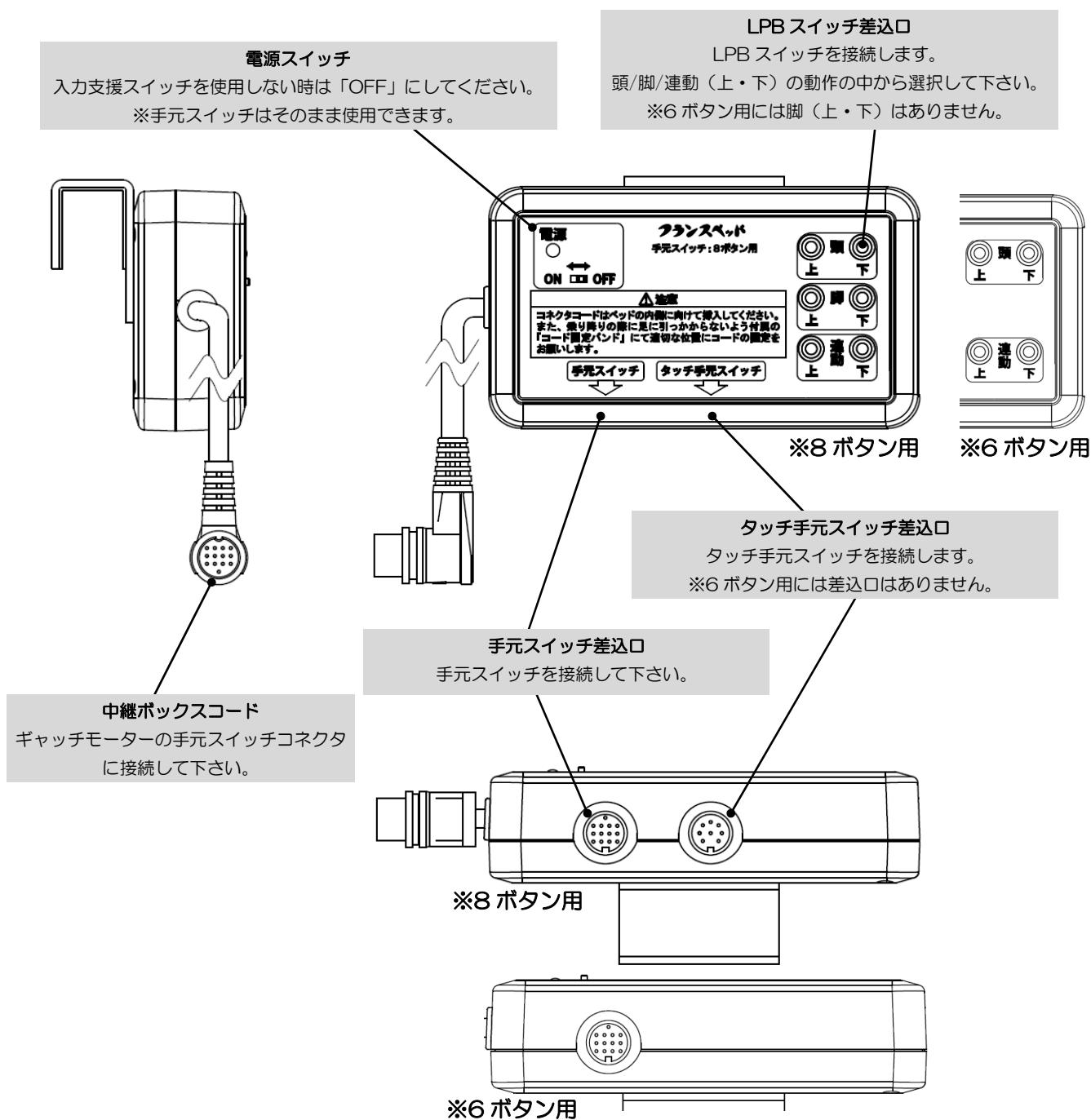
3. 入力支援スイッチの使用

1. 中継ボックス

1) 中継ボックスの各部の名称

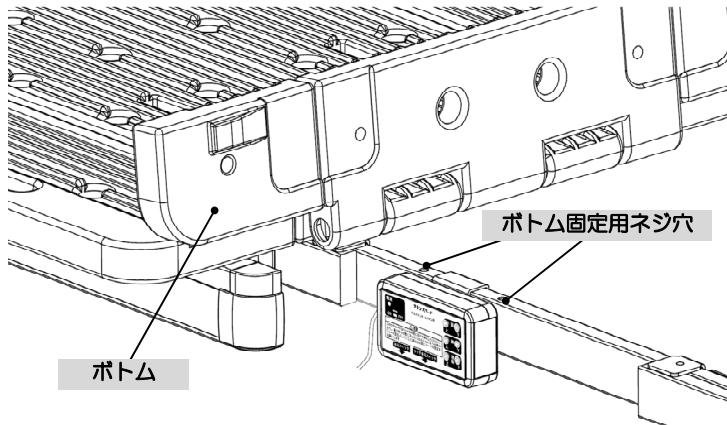
各部の名称及び働きは図の通りです。使用前に位置と内容を確認して下さい。

※中継ボックス使用時は手元スイッチ画面上にリクライニング角度及び高さ表示をしません。



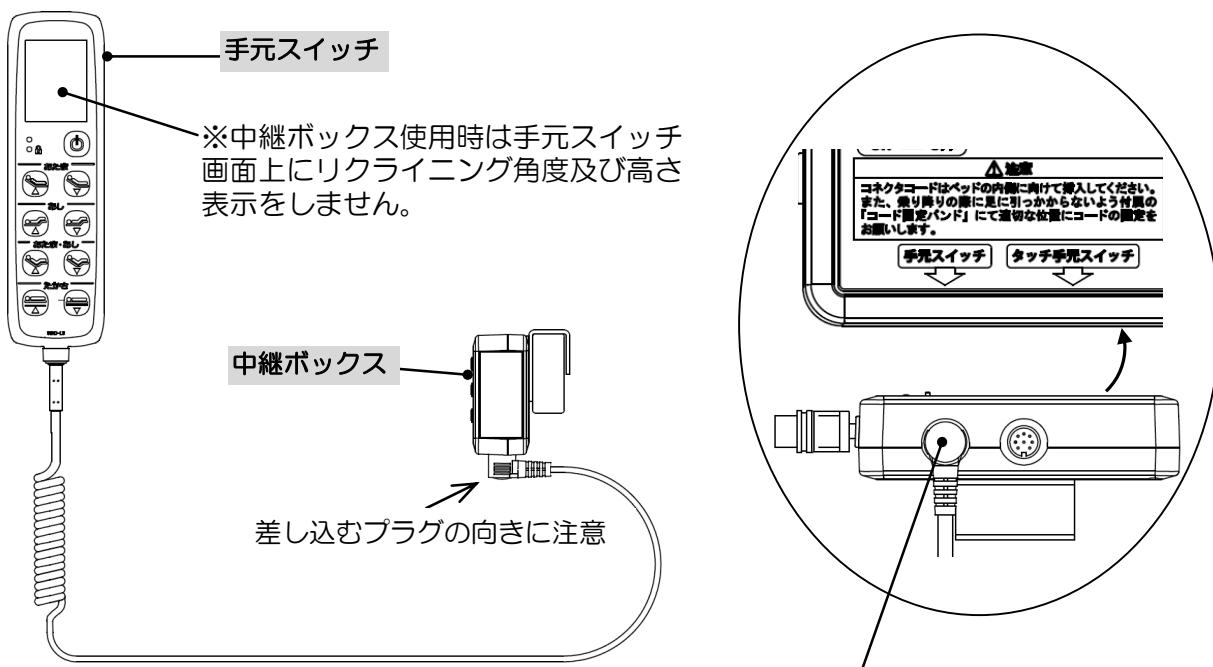
2) 中継ボックスの設置

- ベッドの高さを最大（64cm）まで上げ、背用と脚用のボトムを外して下さい。
そして、背用と脚用のボトムを固定するネジ穴の中央に中継ボックスを取り付けます。
この時、電源スイッチがベッドの外側を向くように取り付けて下さい。
取り付ける方向は電源スイッチが操作しやすいように、乗り降りする側を推奨します。



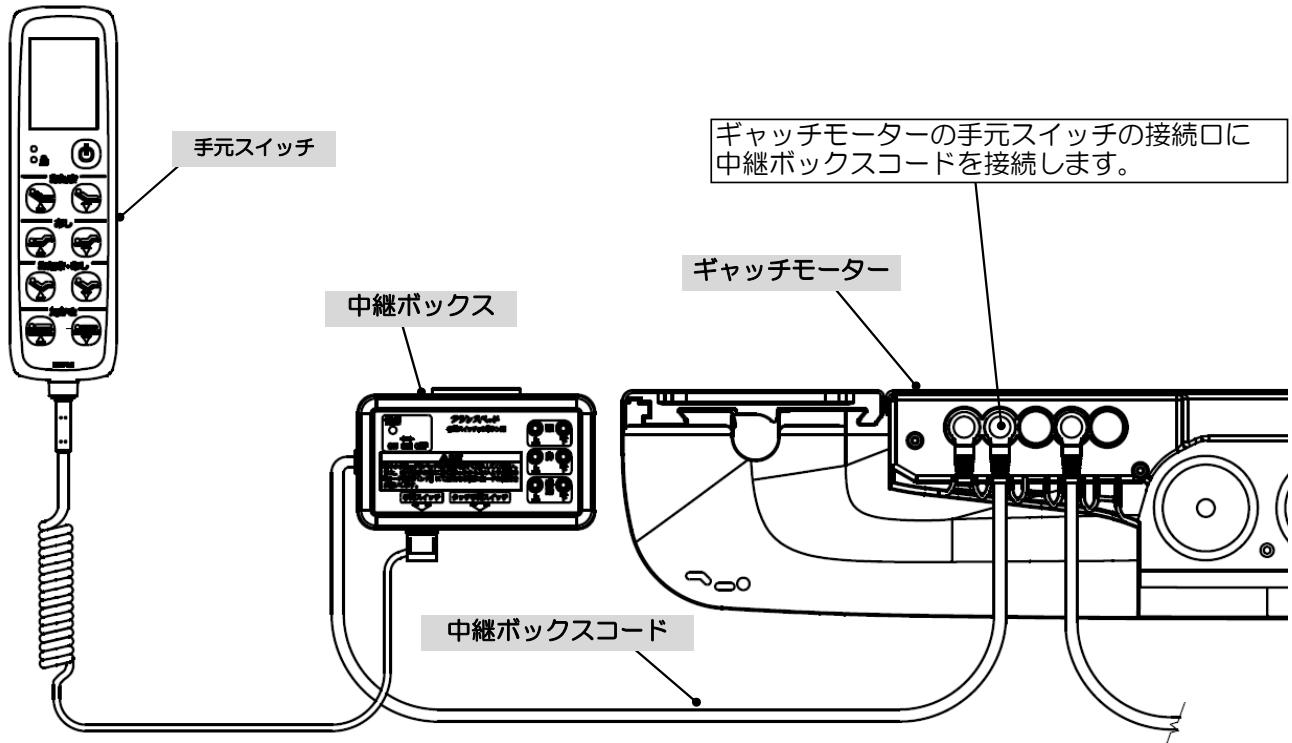
- ギャッチモーターに接続されている手元スイッチを外します。（通常はギャッチモーターに差し込まれた状態です。）

- 抜いた手元スイッチを中継ボックスの手元スイッチ差込口に接続します。差し込む際には、
プラグの向きを確認してコネクタへ奥まで確実に差し込んで下さい。
この時、手元スイッチのコードは必ずベースフレームの上を通して下さい。
※中継ボックス使用時は手元スイッチ画面上にリクライニング角度及び高さ表示をしません。



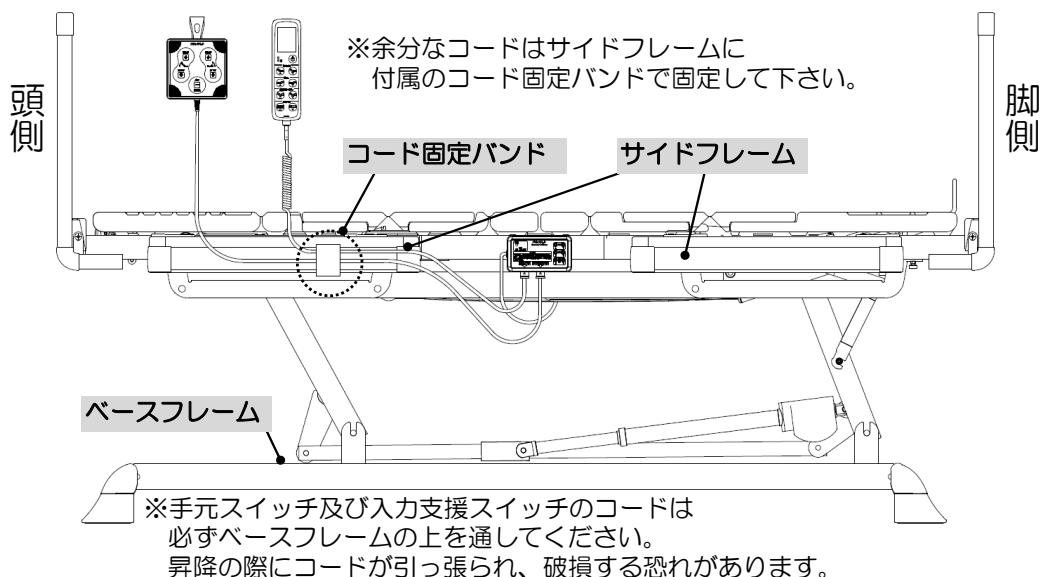
「手元スイッチ差込口」に手元スイッチのプラグを奥まで
確実に差し込んで下さい。
※コネクタコードはベッドの内側に向けて挿入します。
※コードが乗り降りの邪魔にならないように付属の
「コード固定バンド」にてフレームなどに固定して下さい。

- 中継ボックスコードをギャッチモーターの手元スイッチの接続口に接続して下さい。
この時、中継ボックスコードは必ずベースフレームの上を通してください。



- 接続が完了しましたら、モーターカバーを再び取り付け、ボトムを固定して下さい。

- 中継ボックスに「手元スイッチ」「LPBスイッチ」「タッチ手元スイッチ」を接続する際は必ず付属の「コード固定バンド」にて余分なコードをサイドフレームに固定し、安全をご確認下さい。（接続方法については次ページ以降説明）
コードのたるみでベッドからの乗り降りの際に転倒等の重大な事故につながる恐れがあります。

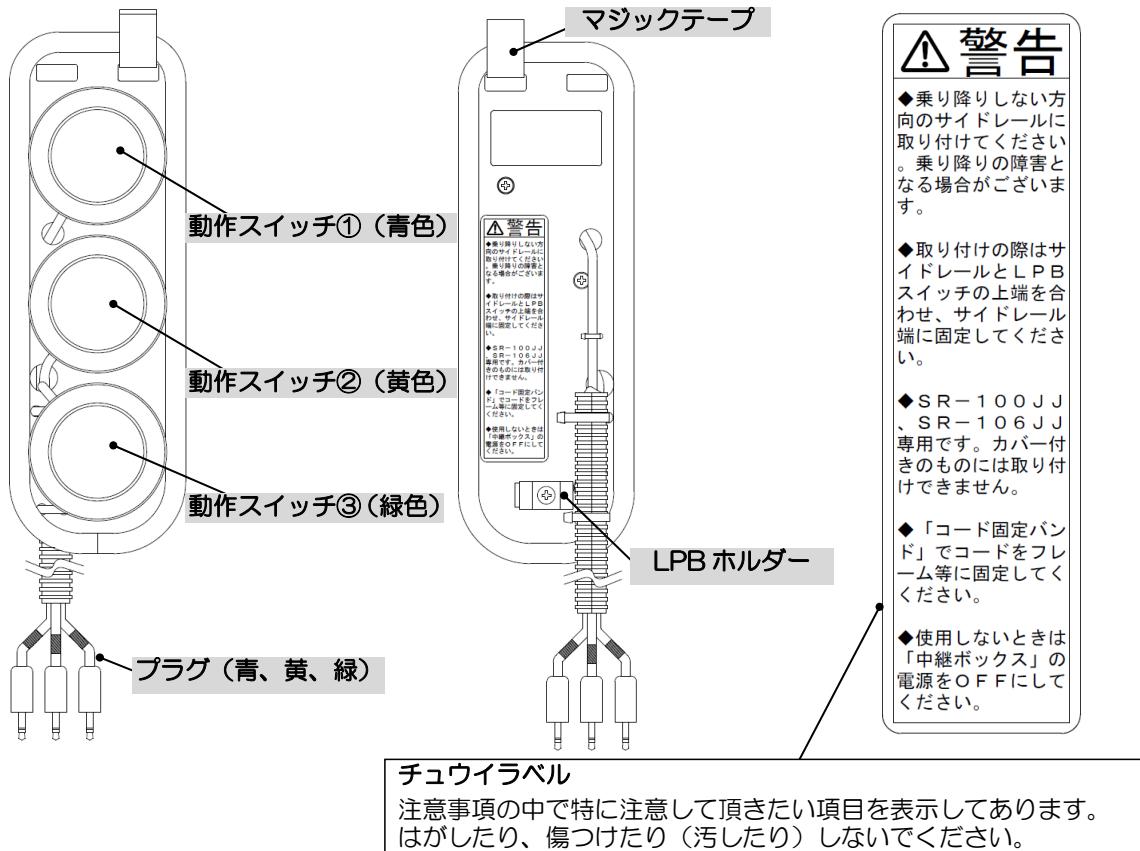


- 中継ボックスの電源を「OFF」にすると「LPB スイッチ」「タッチ手元スイッチ」による動作を受け付けなくなります。手元スイッチはそのまま使用できます。手元スイッチのロック方法はマルチフィットベッドの説明書をご確認下さい。

2. LPB スイッチ

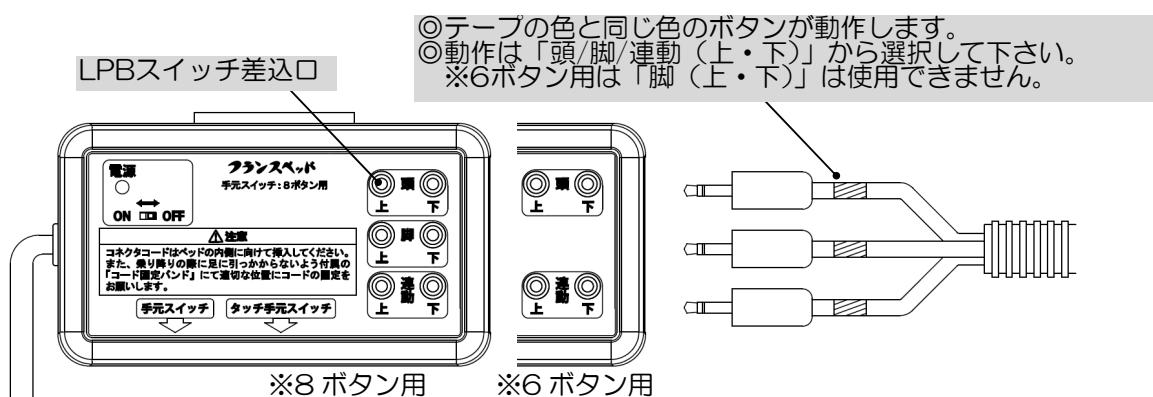
1) LPB スイッチの各部の名称

各部の名称は図の通りです。



2) LPB スイッチの操作方法

- ベッドの操作するときは、各ボタンを一つずつ押して下さい。
- 各ボタンの動作は、中継ボックスの対応する各動作用 LPB スイッチ差込口に接続することにより、お好みの動作することができます。
※例えば、中継ボックスに青色プラグを「頭上げ」、黄色プラグを「脚上げ」、緑色プラグを「連動下げ」の差込口に接続すると、上から頭上げ、脚上げ、連動下げの動作スイッチとして使用できます。
- LPB スイッチを使用しないときは、中継ボックスの電源を「OFF」にして下さい。



3) LPB スイッチの設置・接続方法

● LPB スイッチは乗り降りされる側の反対側のサイドレールに取り付けて下さい。

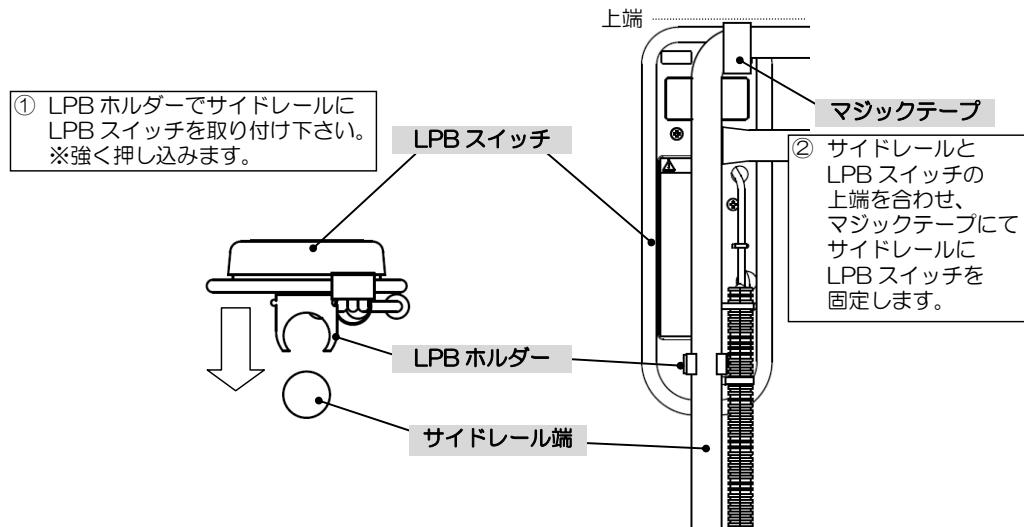
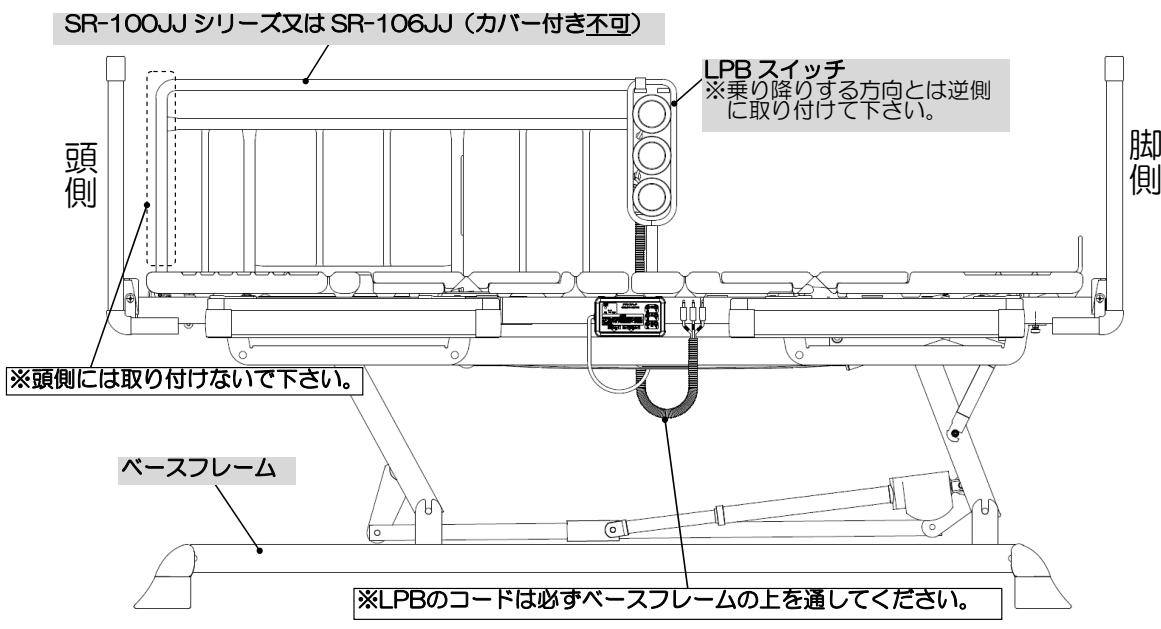
取り付け可能なサイドレールは「SR-100JJ シリーズ」「SR-106JJ」です。

ただし、カバー付きのサイドレールには取り付けることは出来ません。

● サイドレールと LPB スイッチの上端を合わせ、サイドレール端に LPB ホルダーにて取り付けます。この時、頭側のサイドレール端には取り付けないでください。

● LPB スイッチのマジックテープでサイドレールに固定して下さい。

● ベッドの高さを最大 (64 cm) まで上げ、LPB スイッチのコードはベースフレームの上に通し、中継ボックスの LPB スイッチ差込口にお好みの動作に合わせ、接続して下さい。接続したプラグのテープの色と同じ色のボタンが動作します。

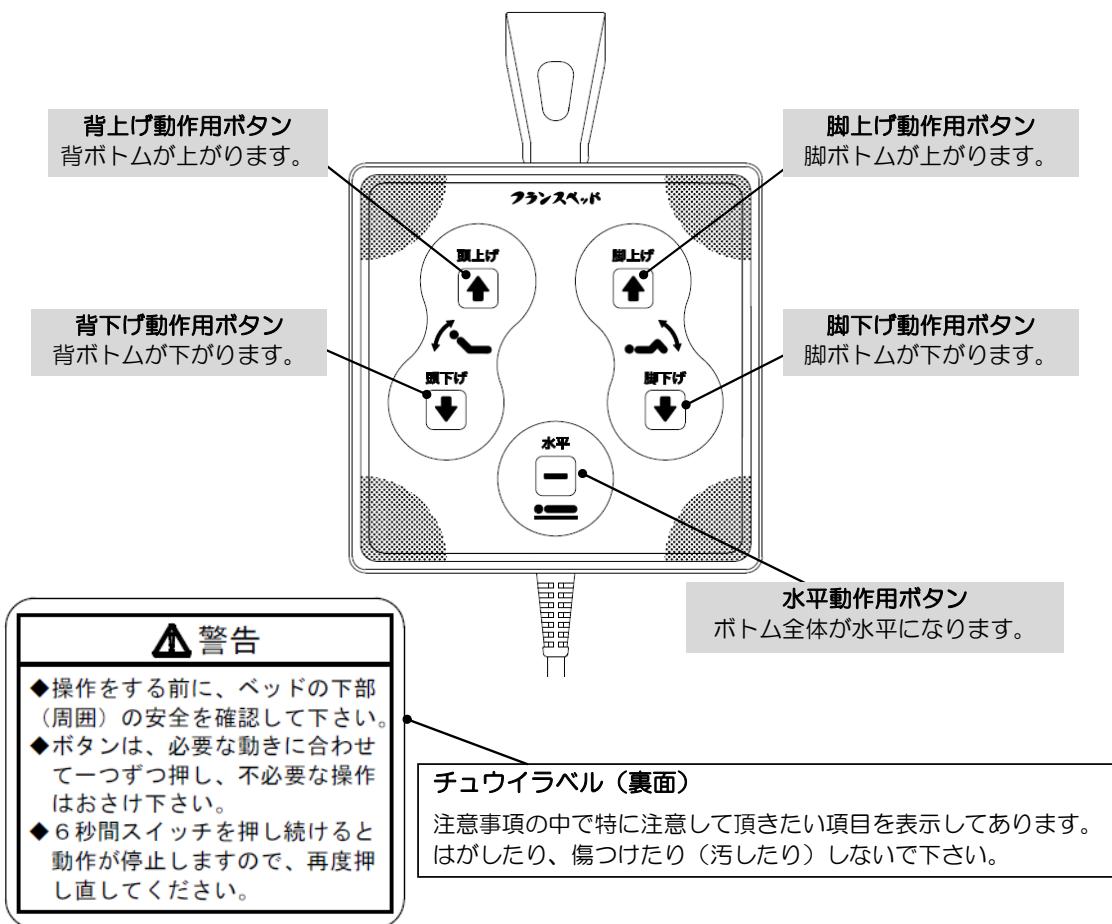


● 背上げを最大まで行い、LPB スイッチがベッドの動きに干渉しないかご確認下さい。

2. タッチ手元スイッチ ※6 ボタン用中継ボックスには取り付けることができません。

1) タッチ手元スイッチの各部の名称

各部の名称は図の通りです。

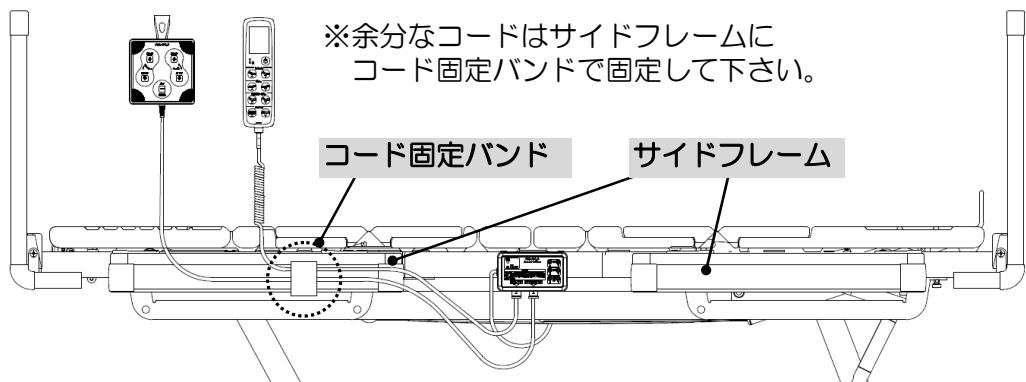
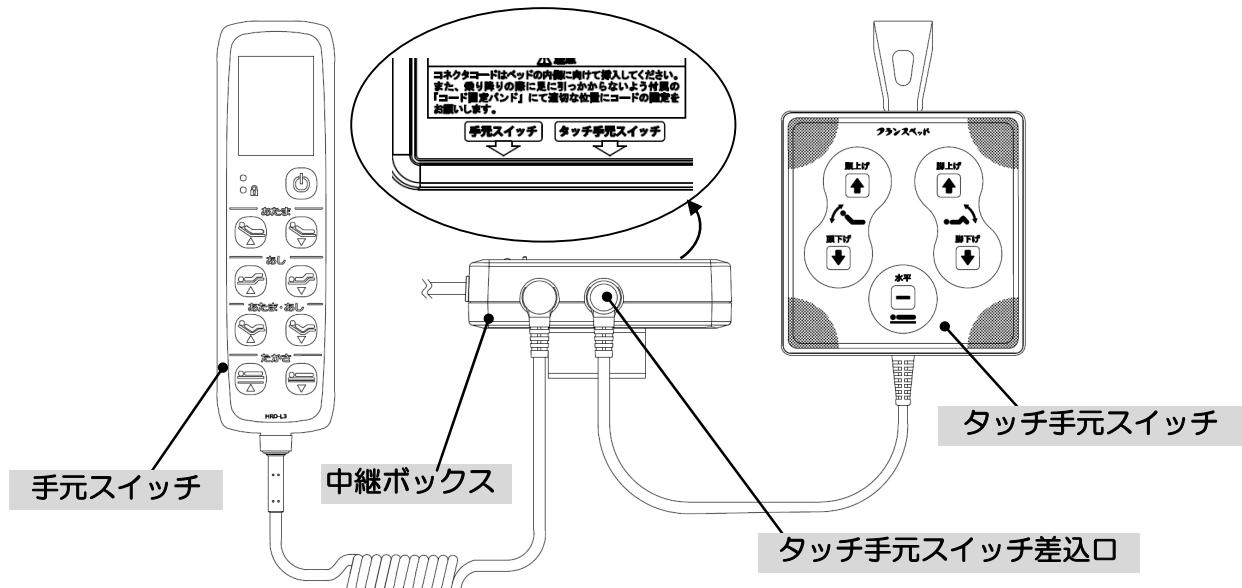


2) タッチ手元スイッチの操作方法

- ベッドを操作するときは、各ボタンを一つずつタッチして下さい。
- スイッチをタッチするとバイブレーションが反応します。
- 使用時は握らずに使用して下さい。
- 安全のため、約6秒間タッチし続けると動作を停止します。再度タッチし直して下さい。
- 使用しないときはサイドレールにおかけ下さい。

3) タッチ手元スイッチの設置・接続方法

- 中継ボックスのタッチ手元スイッチ差込口に接続して下さい。中継ボックスの逆側のサイドレールにタッチ手元スイッチを掛ける際はベッドの高さを最大（64cm）まで上げ、タッチ手元スイッチのコードをベースフレームの上に通して下さい。
- 余分なコードは付属の「コード固定バンド」でサイドフレーム等の乗り降りの邪魔にならない場所に固定して下さい。



- 接続が完了しましたら、各ボタンの動作確認をして下さい。

4. 仕様

中継ボックス	寸法	76×135×60.6mm
	重量	280g
	消費電力（最大）	0.27W
L P B スイッチ	寸法	282×95×52.8mm
	重量	870g
タッチ手元 スイッチ	寸法	171×130×71.5 mm
	重量	320 g

5. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックして下さい。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼して下さい。

症状	チェック項目	対処方法
入力支援スイッチのボタンを押してもベッドが動かない。 <u>(全ての動作が操作できない)</u>	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
	ギャッチャモーターの中継ボックスにコードは緩く差し込まれていませんか？	中継ボックスのコードが確実に差し込まれていない等、接続に問題があります。確実に接続されているか、コードに破損はないか確認して下さい。
	差込口からコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んで下さい。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。 電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をして下さい。
	ボタンを同時に 2 つ押していませんか？	各ボタンを 1 つずつ押して下さい。
	LPB スイッチのボタンがマットレス等に押されていますか？	ボタンの位置を調整し、マットレス等が当たらないようにして下さい。
	中継ボックスの電源は「ON」になっていますか？	中継ボックスの電源が「OFF」になっていた場合は「ON」に切り替えて下さい。

6. アフターサービスについて

保証書および保証期間について

- 保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。

- 保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理致します。

- 保証期間を過ぎて修理を依頼する場合

修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理致します。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡して下さい。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせ下さい。

お客様相談室



フリーダイヤル：0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時 13時～17時

（土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く）

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

7. 保証書

保証期間	1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご芳名 〒 □□□-□□□□ ご住所 TEL		
販売店	店名・住所		

本保証書

保証の対象
本体のみ行います。

保証の態様

(1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
 (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室に連絡下さい。
 (3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い方間に要する実費を申し受けすることがあります。

保証を受けるための条件
保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。
 本保証書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の適用除外

(1) 本保証書及び納品書又は領収書のご提示が無い場合。
 (2) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
 (3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
 (4) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
 (5) 火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
 (6) 本商品の製造上に起因した欠陥であることを確認できない場合。
 (7) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
 ※ 上記項目については有償修理になります。

修理の記録

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地
TEL 042(543)3111 (代表)

